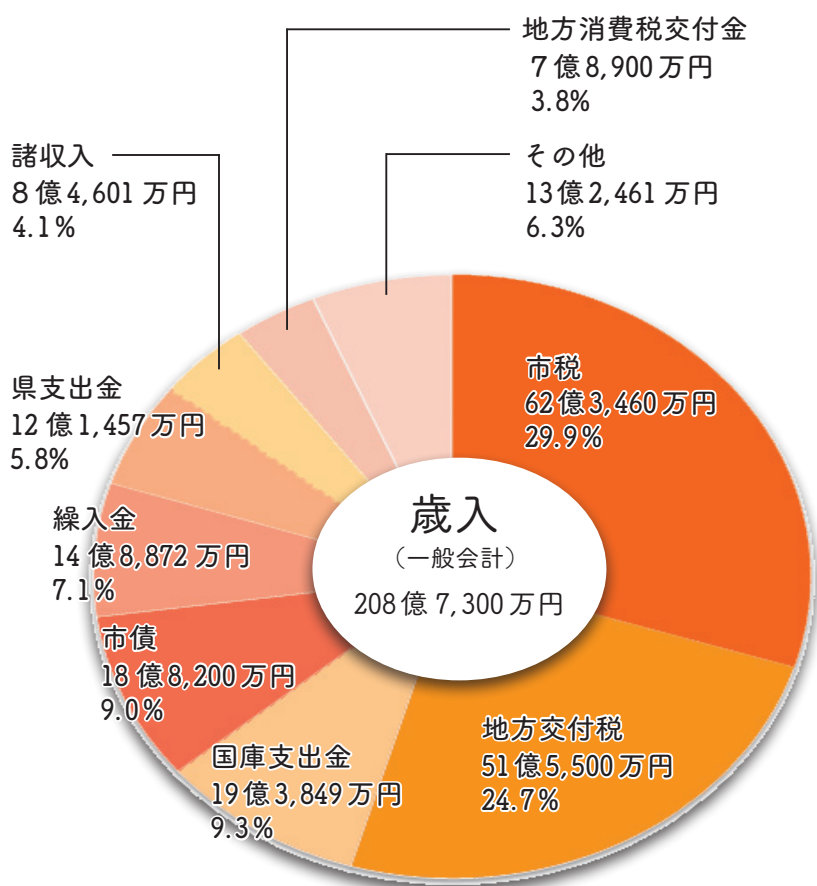


2018年度当初予算

自治体における予算。私たちの生活に関わるごみ処理や小中学校の管理、保育園の運営、公園の管理、道路の管理などに必要な「お金」をそれぞれ計算し、積み上げたものが「予算」です。

つまり、2018年度、中野市がどのように運営されていくのかという方針。



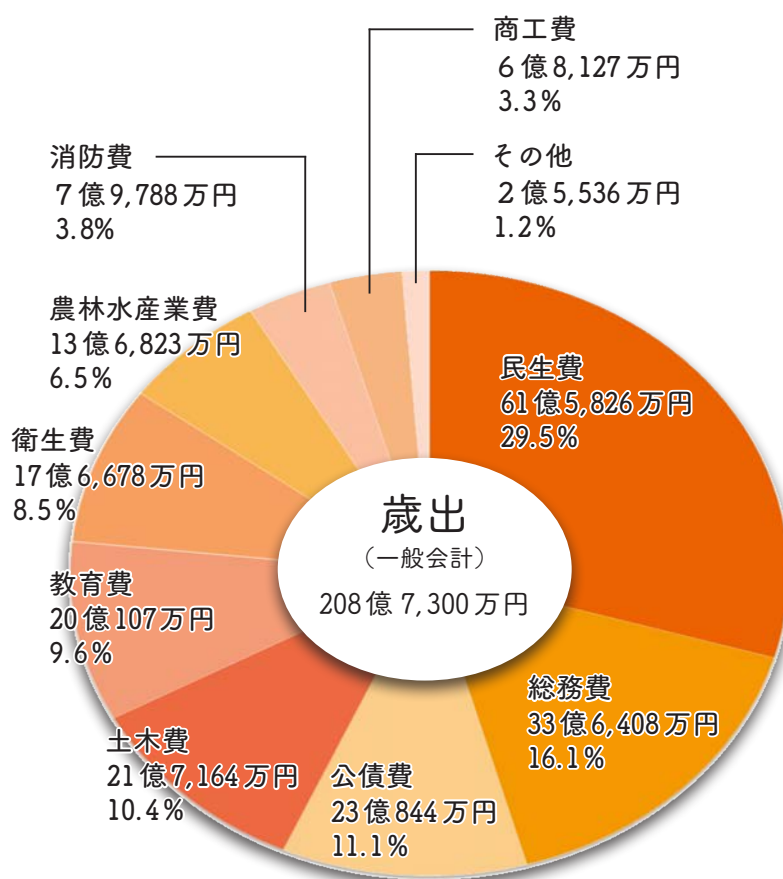
▼歳入 (一般会計) の用語説明など

用語	前年度比	用語説明・前年度からの増減の主な理由
市 税	1.0%増	皆さんが中野市に納める税金 増額の理由：雇用情勢の改善や給与所得の伸びにより市民税が増加
地方交付税	3.9%減	皆さんが国に納める税金の一部。地方公共団体の財政状況に応じて配分 減額の理由：国の地方財政計画などで額が減少することを考慮
国庫支出金	4.9%増	皆さんが国に納める税金の一部。特定の目的を達成するために国から交付 増額の理由：小学校統合整備や保育所などの整備に対する交付金の増加
市 債	42.4%減	事業を行うために国や銀行などから借り入れるお金 減額の理由：市役所新庁舎や防災行政無線デジタル化などの整備費用の減少
繰 入 金	7.0%減	各種基金（家庭でいう貯金）を取り崩して使うお金 減額の理由：市役所新庁舎の整備費用の減少
県 支 出 金	7.5%増	皆さんが県に納める税金の一部。特定の目的を達成するために県から交付 増額の理由：高い収益の作物・栽培体系へ転換を図る産地パワーアップ事業の補助金などの交付金の増加
諸 収 入	6.3%減	他の収入科目に含まれない収入。延滞金や預金利子など 減額の理由：市制度資金預託金返還金などの減少
地方消費税交付金	5.5%増	皆さんが国に納める消費税の一部。一定の割合に応じて交付 増額の理由：消費が増えたため

歳入は、市民の皆さんに納めていただく税金や、市が国や銀行などから借り入れたお金で構成されています。

歳入の金額は「歳入の金額」で表されています。歳出は、中野市の運営に必要な「事業」を民生費や総務費などに種別して計上されています。

皆さんに納めていただく税金が何に使われているかは、市が実施する「事業」として、皆さんの生活に関わってきます。



※ 1万円未満四捨五入のため、数値が一致しない場合があります。

▼ 歳出 (一般会計) の用語説明など

用語	前年度比	用語説明・前年度からの増減の主な理由
民生費	1.4% 増	保育所などの整備や、児童や高齢者などの支援、生活保護などにかかる経費 増額の理由：認定こども園整備事業への補助金の増加
総務費	40.3% 減	市役所庁舎の管理や市税の徴収、戸籍などの市役所全般にかかる経費 減額の理由：市役所新庁舎整備事業費の減少
公債費	3.1% 増	市債の返済にかかる経費 増額の理由：市債の増加による返済の増加
土木費	8.1% 増	道路、住宅、公園、河川などの公共施設の整備や維持管理にかかる経費 増額の理由：道路の舗装事業費や街路事業費の増加
教育費	17.9% 増	学校の建設・管理、生涯学習、文化財保護など教育行政にかかる経費 増額の理由：小学校統合整備事業費の増加
衛生費	2.5% 減	予防接種などの健康管理や疾病予防、ごみ処理などにかかる経費 減額の理由：国民健康保険事業特別会計への繰出金の減少
農林水産業費	20.0% 増	農林水産業の振興や農道整備にかかる経費 増額の理由：下水道事業会計への負担金の増加
消防費	7.2% 増	火災、風水害、地震などの災害から皆さんを守るための経費 増額の理由：消防ポンプ自動車などの車両購入の増加
商工費	12.3% 減	観光施設や商工業の振興などにかかる経費 減額の理由：市制度資金預託金の減少

歳出 (新規事業) の説明は次のページへ